

使い方 (潮汐予想に表示される情報は、航海の用に供するものではありません。航海には必ず海上保安庁水路部発行の潮汐表を使用してください。)

1. 「基底データ」シートのA列の「港プルダウンメニュー使用データ」欄に使用する港に印を入れます。(印は空白以外の文字列なら何でも良いです)
2. 上記の使用する港に印を入れると、「記入用紙」シートの基準港のプルダウンメニューで港が選択できるようになります。
3. 釣場の緯度と経度は、Google Map等で調べて、入力して下さい。
4. 左下で、記載Noを選択して「左上黄色の番号を選択して、潮汐図を表示」のボタンを押すとその釣場と釣上時刻の潮汐データが表示されます。これらのデータ出力は、出力セル位置を名前で定義しているため、自由にレイアウトを変えることができます。
5. この記入用紙では、夜釣り中心の為、釣場と釣上時刻の「月齢」と「潮名」と「日の出」と「日の入」と「潮時」を自動計算しています。

使用したユーザー関数は、以下の通りです。

月齢 =uf月データセル出力(釣上日付, 釣上時刻, 釣場緯度, 釣場経度, 0)
潮名 =uf月データセル出力(釣上日付, 釣上時刻, 釣場緯度, 釣場経度, 5)
日の出 =uf太陽データセル出力(釣上日付, 釣上時刻, 釣場緯度, 釣場経度, 2)
日の入 =uf太陽データセル出力(釣上日付, 釣上時刻, 釣場緯度, 釣場経度, 4)
潮時 =uf潮汐データセル出力(釣上日付, 釣上時刻, 釣場緯度, 釣場経度, 港名, 0)

ユーザー関数の最後の番号は、戻値項目Noで、各ユーザー関数で以下の内容となっています。

uf月データセル出力 : 0 = 月齢,	1 = 月輝面,	2 = 月出,	3 = 月正中,	4 = 月入,	5 = 潮名
uf太陽データセル出力 : 0 = 日出_天文薄明,	1 = 日出_常用薄明,	2 = 日出,	3 = 正中,	4 = 日没,	5 = 日没_常用薄明, 6 = 日没_天文薄明
uf潮汐データセル出力 : 0 = 潮時,	1 = 最小潮位,	2 = 最大潮位,	3 = 略最高高潮面,	4 = 大潮升,	5 = 大潮差, 6 = 小潮升,
	7 = 小潮差,	8 = 平均水面,	9 = 平均潮差,	10 = 潮齡,	11 = 平均高潮間隔

注意事項

1. **記入用紙と基底データのシート名は、変更しないで下さい。**変更すると一部のVBAプログラムが動作しなくなります。シート名を変更する場合は、VBAのコードも変更して下さい。
2. **基底データのシートは、VBAのコードでセル範囲内の列を直接指定している為、セル範囲の列順序の変更は禁止します。**変更する場合は、VBAのコードも変更して下さい。
3. シートを不用意に変更しないように**シート保護のパスワード「123」を設定**しています。改変する場合は、解除して下さい。

補足資料



-写真1- 太刀魚20131116_109cm幅80mm



-写真2- 太刀魚20141101_106cm指幅3.5本



-写真3- 太刀魚20141109_098cm指幅4本



-写真4- 太刀魚20141115_109・101cm指幅3. 5本